

視察・活動



高校総体開会式@きたえーる



ウポボイ3周年記念セレモニー



女子バレーチーム「アルテミス」による
子どもバレー教室

ひがき 尚子

北海道議会議員
札幌市中央区

つながろう北海道！
つなげよう未来へ！



第70回たそがれ野球大会表彰式



北海道栄養士会 栄養ワンダー
「間食の、すすめ」



「すこやかクラブ」にて演奏



各地区夏祭り



議会食堂にて蘭越米応援イベント



知事公館・近美エリアの
「いちおし風景ギャラリー展」



(有)藤沢牧場 視察

♪あとがき♪ 札幌駅～大通公園～すすきの周辺などの都市再開発事業では狸小路に完成した複合施設「モユクサッポロ」や施設内の水族館「AOAO SAPPORO」など、次世代を担う多種多様なプロジェクトが進行中です。都心を彩り多くの人を楽しませてもらえる新しい空間が、札幌の都市力向上に貢献してくれることを期待しています。 檜垣尚子

～ごあいさつ～
札幌は猛暑の夏も過ぎ、冬の到来を感じます。一期目は暮らしを取り巻く広範な分野で制約を受け、今春の統一地方選挙も普通の地域活動が困難な中での選挙戦でしたが、皆さまからの温かいご支援と力強いご支持をいただき、北海道議会議員二期目の活動を始めることができましたこと、心から感謝と御礼を申し上げます。
今期の委員会は、経済常任委員会(副委員長)、子ども政策調査特別委員会(理事)、自民党道民会議・政策審議委員会(副委員長)に所属いたしました。経済委員会には次世代半導体・カーボンニュートラル・脱炭素化への取り組みなどが新たに加わりました。政策審議委員会では、一期目に引き続き道政の様々な課題を審議していくこととなりました。
新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、北海道でも観光や社会・学校等の活動が活発化してきましたが、多岐に渡る値上げラッシュや、コロナ禍からの暮らしの再生など産業経済活動の回復などに直接関わる重要課題が山積しています。市民皆様のお声を広くお聞きしながら、人と人を繋ぐ地域の絆をさらに強め、元気な北海道と札幌の創造を目指し、課題解決に向け全力で取り組んでまいります。今後とも、ご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。 北海道議会議員 檜垣尚子

経済委員会道外調査 熊本半導体工場視察

北海道半導体工場ラピダスに関して、熊本ですでに建設を始めているJASM工場や、半導体人材の育成を産学官連携で目指す熊本大学、半導体産業集積強化とデータセンターなどの企業誘致を行う熊本県庁・県議会を訪れました。課題は半導体工場での取水問題と、不足する人材の育成です。

ひがき尚子政策事務所

下記へ移転いたしました。引き続きよろしくお願いいたします。

〒064-0825
札幌市中央区北5条西28丁目2-1
北5ビル1階

～～所属委員会～～
経済常任委員会 副委員長
子ども政策調査特別委員会 理事
自民党道民会議 政策審議委員会 副委員長

プロフィール
S45.3.5 札幌市中央区生
趣味: ヴァイオリン
ポセリンアート

ひがき尚子政策事務所

〒064-0825 札幌市中央区北5条西28丁目2-1北5ビル1階
TEL 011-215-7372 FAX 011-215-7472
E-mail: higaki.h35@gmail.com
HP: <https://www.higakihisako.com/>
FB: <https://www.facebook.com/higakihisako/>



第2回北海道議会定例会 (6/22~7/14)

予算特別委員会での質問項目

- ～ 水産林務部 ～
- 一. 森林環境贈与税について
- 二. 道産建築材の利用促進について
- 三. 北森カレッジにおける人材育成について
- 四. 木育に推進について
- ～ 教育委員会 ～
- 五. 部活動の地域移行について
- 六. 地域を支える人材の育成について
- 七. 幼児教育と小学校教育の連携について
- 八. 特別支援教育の創造について

二. 道産建築材の利用促進

檜垣 道内の人工林資源は利用期となり、リスク懸念のある輸入材から道産木材へ転換する好機だが、道産建築材の利用促進・道産木材利用の建築物「HOKKAIDO WOOD BUILDING」制度・民間施設の木造化・北森カレッジの果たす役割等を伺う。

立原泰直林業木材課長 6月までに41施設が登録、札幌市の高層ハイブリッド木造ホテルや北広島ボールパーク関連の店舗や宿泊施設などがある。

山口修司水産林務部長 建築物の木造化・木質化を推進することで道産木材の利用拡大に資する目的の「HOKKAIDO WOOD BUILDING」の登録企業と連携し、供給力の強化を図るとともに炭素を長期間固定する木材利用の意義などをPRする。

笹岡英二林業振興担当課長 「北森カレッジ」には木材関係企業から約5倍の求人がある。北海道への入学希望者が減少したのは全国各地に林業大学校が増設された影響によると推測する。人材確保・育成のため道内の農業高校等を対象に個別訪問、社会人の受験機会の増加のため5年以上の職務経験者にはオンラインでの面接選考を実施、新たに会社経営の知識を習得する実習を行うなどに取り組む。

五. 部活動の地域移行

檜垣 令和七年まで、公立中学校の休日部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行を重点的に行うと承知しているが、関係部署との連携体制等は。

田口範人部活動改革推進課長 「地域スポーツ連携・協働再構築推進プロジェクト」を昨年同様に実施し、仕組みづくりを進める。「北海道部活動地域クラブサポーターバンク」を設置し、民間企業や家庭教育サポート企業等と連携したPR活動に取り組む。
山本純史学校教育監 各市町村の実情に応じた提案や助言、財源措置などを国に要望し円滑に進むよう取り組む。

六. 地域を支える人材の育成

檜垣 道教委が実施している「地域医療を支える人づくりプロジェクト事業」の目的・取り組み概要について伺う。

相馬利幸高等教育課長 道立高校の医学部を目指す生徒に対し、効果的な学習支援を目的として道立高校9校を指定し数学・理科・外国語の授業で少人数指導を行うとともに、地域医療体験等で理解を深める機会を提供してきた。

倉本博史教育長 メディカルキャンプセミナー参加者を市町村立高校や私立学校まで拡大する等、本道医療を担う医師を多く育てられるよう取り組む。

七. 幼児教育と小学校教育の連携

檜垣 幼児教育を小学校以降の教育活動に繋げるための幼児教育の質向上と小学校への円滑な接続を図る取り組みは。

遠藤直俊義務教育課幼児教育推進センター長 実態調査によると一定の取り組みは進んでいる。人材育成や双方のカリキュラムの接続方法などの蓄積普及が必要だ。
川端香代子学校教育局長 小学校の管理職への幼少連携の意義に対する理解を深め、保育者・教員・市町村職員の研修を充実させ、一層推進されるよう取り組む。

八. 特別支援教育の創造

檜垣 「特別支援教育に関する基本方針」検討会議の進捗状況を伺う。

大畑明美特別支援教育課長 全14教育局で保護者と教職員を対象に適切な進路選択につなげるための研修会、また担当教諭を対象に教育相談の研修会を実施。将来を見通した進路選択ができるよう取組の充実に努める。

倉本教育長 障害があるなしに関わらず同じ場で共に学び生きる力を身に付けていくことを目指し、インクルーシブ教育システム構築の基本的考え方を、学校教育関係者や全ての子どもと保護者が共有できるよう取り組む。



第3回北海道議会定例会 (9/12~10/6)

一般質問での質問項目

- 一. 女性活躍推進に係る取り組みについて
- 二. ひきこもり支援について
- 三. ふるさと納税について
- 四. 札幌医科大学の業務実績評価結果について
- 五. 学校における男性教職員の育児休業について
- 六. 日本語指導が必要な児童生徒の教育の推進について
- 七. 特別支援教育の充実について
- 八. 原子力防災教育について
- 九. 自転車等の交通事故防止について
- 十. 国際情勢を踏まえた経済対策等の対応について



一. 女性活躍推進に係る取り組み

檜垣 道内では家事等に携わる時間が女性に大きく偏っていたり、企業や各種機関・団体等の管理的業務における女性の割合が全国と比べ低い状況だが、解消に向けての取り組みは。

鈴木直道知事 ジェンダーギャップには無意識の思い込みがある他、広域性など地域特性の影響があると考え。解消に向けた意見交換や講演、セミナーの開催などを通して、性別にかかわらず個性と能力が発揮できる社会の実現に取り組む。

二. ひきこもり支援

檜垣 道の調査では半数近くの市町村で実態把握ができていないと示されているが要因と今後の対応は。

鈴木知事 家庭で抱え込むことが多く相談等が寄せられにくいことから実態把握が難しい。市町村職員を対象に研修会を開催し早期把握や社会復帰につながる支援の推進に取り組む。

四. 札幌医科大学について

檜垣 地域医療の人材の育成や高度専門医療等、医療・保健・福祉の充実への貢献は大きい。道は今後どのように支援していくか。

鈴木知事 札幌医科大学は高度先進医療や救急医療、地域への医師派遣、新型コロナウイルス感染症対応等に積極的に取り組み大きな責任を果たしている。第3期中期目標の達成に向け、建学の精神に掲げる本道の地域医療に貢献する役割を果たせるよう必要な支援を行う。

六. 日本語指導が必要な児童生徒の推進

檜垣 在留する外国人は増加し、学校に在籍する外国人児童生徒や、日本国籍だが日本語指導を必要とする児童生徒が増加。共生社会の一員として今後の日本を形成する子どもたちへの日本語指導の充実が必要。今後受け入れのなかった市町村への入学も考えられるが、教員やボランティアの情報共有などを進める等、今後の取り組みを伺う。

倉本博史教育長 日本語が必要な児童生徒はこの10年で倍増している。その母語も20言語以上と多様化し、文化的背景や生活習慣、日本語の能力など一人一人必要な支援が異なる。「帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業」を実施、地元のボランティア方々にも担っていただいている他、道・市町村教育委員会や知事部局、JICA、大学等で構成する協議会を毎年開催、また日本語指導専門の大学教員の訪問指導を行うなど教育の充実に努める。

七. 特別支援教育の充実

檜垣 通級による指導を受けられる学校を増やすことが急務であり、全道で多くの専門性を身に付けた通級指導担当教師の計画的育成が必要だ。

倉本教育長 一人一人のその時点での教育ニーズに的確に応える指導を提供できる仕組みを整備するという観点の下、通級指導教室担当教諭等の指導力向上に取り組む、児童生徒や保護者の教育ニーズに応えられる細かなサポート体制構築を推進する。

十. 国際情勢を踏まえた経済対策

檜垣 観光需要の喚起策「HOKKAIDO LOVE! 割」は昨年度約209億円の繰越予算を計上、本年7月に事業終了。終了後の予算残額を秋の開散期に向け積極的に活用すべきと考えるが今後の対応は。

鈴木知事 790万人に利用され地域経済を支える政策で、事業終了後の残額は約16億円と見込まれる。10/20を目途に残額を活用し同事業を再開する方向で調整をしていく。



江差町交流センター



厚沢部町認定こども園
〈こども政策調査特別委員会視察〉



海外バイヤー招聘商談会
in 北海道セレモニー



自衛隊恵庭駐屯地視察



視察・活動

東京中央要請



経済委員会



来年度の予算



教育振興議連
学校の環境整備



暑さ対策

